森と水がはぐくむ産業
未来をつくる自然エネルギーと観光の絆

全国広域観光振興事業 2016

全国産業観光フォーラムin日田（ひた）

2016年
10月27日(木)・28日(金)

27日(木):記念講演・パネルディスカッション・交流会
会場／日田市民文化会館「パトリア日田」他

● 記念講演
演題「つなぐ建築」
講師 隈 研吾氏(建築家)

28日(金):エクスカーション4コース
①水の恵コース②木の香コース③森の恵コース④自然エネルギーコース

がんばろう!九州

主催／ ひた産業観光推進協議会・全国産業観光推進協議会・公益社団法人日本観光振興協会・大分県・日田市
後援／ 経済産業省・観光庁・日本商工会議所・全国商工会連合会・大分県商工会議所連合会・大分県商工会連合会・一般社団法人九州観光推進機構・公益社団法人ツーリズムおおいた

森と水がはぐくむ産業
未来をつくる自然エネルギーと観光の絆

～再生可能エネルギーの産業観光化の可能性を探る～

九州山地のほぼ中央に位置する大分県日田市は、緑豊かな森林と三隈川の豊富な清流の恵みを受けながら、様々な産業を育んできました。

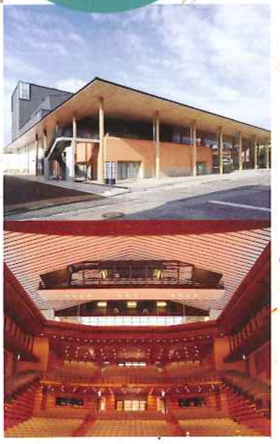
また、環境都市日本一を目指して循環型社会の実現に取組む本市には、木質バイオマス発電や水力発電、畜産・生活系バイオマス発電、小水力発電、太陽光発電、風力発電など多種多様な発電施設が存在しています。

地域の特色を活かした再生可能エネルギーや基幹産業である林業を観光資源と結びつけることによって見えてくる様々な可能性をこのフォーラムで探ります。

10月27日(木)
記念講演
パネルディスカッション
交流会

会場 日田市民文化会館「パトリア日田」他

●全体会(13:00～) ＜事前申込必要＞参加費○全体会(無料)



メイン会場:
日田市民文化会館「パトリア日田」

○開会式

○産業観光まちづくり大賞表彰式

○記念講演(14:00～)

演題:「つなぐ建築」

講師:隈 研吾氏(建築家)

＊2020年東京五輪・パラリンピックの主会場となる新国立競技場をデザイン

○次期開催地紹介

○パネルディスカッション(15:30～)

「産業観光と地域の産業振興」

～産業観光で地域ブランドを磨き、地域産業の未来を拓く～

photo PEY INADA

隈 研吾氏(くまけんご)

1954年横浜生まれ。東京大学建築学科大学院修了。コロンビア大学客員研究員を経て、現在東京大学教授。作品に「森舞台/登米市伝統継承館」(日本建築学会賞受賞)、「グレート・バンブー・ウォール」(北京)、「歌舞伎座」(第五期)、「豊島区庁舎」、「中国美術学院杭州民芸博物館」(中国)、「ヴィクトリア・アンド・アルバート・ミュージアム」(英・進行中)など。『自然な建築』(岩波新書)、『小さな建築』(岩波書店)など著書多数。

パネルディスカッション出演者

◉コーディネーター
合同会社 場所文化機構代表
後藤 健市氏(ごとうけんいち)

1959年北海道帯広生まれ。米国の大学留学中にセールスプロモーションを手掛けるベンチャー会社に参加。ソニー・松下等家電メーカーの草創期のパソコン・ワープロのSPを担当。86年に東京から地元に戻り、福祉から教育、飲食分野も含め幅広いフィールドでまちづくり活動に関わる。また、場所文化クリエーターとして全国の現場での活動に関わっている。

◉パネリスト
株式会社 トライ・ウッド総務企画部長
渡邉 雄一郎氏(わたなべ ゆういちろう)

1973年大阪府生まれ。11年間東京でシステムエンジニアとして働くが、実家に近い日田市上津江町にある林業会社トライ・ウッドに転職。経済林と環境林の両立を目指し奮闘中。上津江町在住。

◉パネリスト
株式会社スノーピーク 代表取締役
山井 太氏(やまい とおる)

1959年新潟県三条市生まれ。明治大学を卒業後、外資系商社勤務を経て86年、父が創業したヤマコウに入社。アウトドア用品の開発に着手し、オートキャンプのブランドを築く。96年の社長就任と同時に社名をスノーピークに変更。熱狂的なアウトドア愛好家で毎年30～60泊をキャンプですごす。

◉パネリスト
別府大学教授 自然エネルギーが専門
阿部 博光氏(あべひろみつ)

早大卒業後、1984年、時事通信社入社。東京本社外国経済部、外信部などを経て1995年から2007年までロンドン特派員。2001年に英国エディンバラ大学大学院修士課程(環境経済学)修了。2008年、別府大学文学部准教授に着任。2013年別府大学国際経営学部教授。現在に至る。

◉パネリスト
ローカルアンドデザイン株式会社 代表取締役
高山 美佳氏(たかやまみか)

長崎市生まれ。広島大学総合科学部卒。ローカルアンドデザイン株式会社代表取締役。地域デザイナー。㈱リクルートコスモス退職後、98年に独立。2001年、久留米市田主丸町の巨峰農家へと嫁ぎ、予約率100%を超える着地型観光「久留米まち旅博覧会」などを手掛ける。

◉コメンテーター
全国産業観光推進協議会副会長
須田 寛氏(すだ ひろし)

1931年京都府生まれ。1954年京都大学法学部卒。同年4月日本国有鉄道入社、1987年4月東海旅客鉄道㈱代表取締役社長、2004年6月同相談役。(公社)日本観光振興協会理事、全国産業観光推進協議会副会長も務める。主な著書に「観光」、「新産業観光」、「昭和の鉄道」等

○交流会(18:00～)※会費6,500円

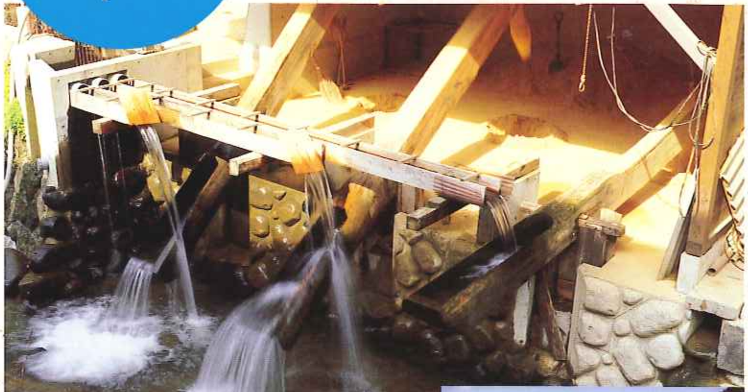
三隈川に屋形船を浮かべ、花火で皆様を歓迎します。

※雨天の場合は、ホテルで行います。

10月
28日(金)
エクスカーション
4コース

●エクスカーション

4つのテーマに基づいて産業観光のモデルコースを体験・見学・交流します。
※各コースとも定員25名(最少催行数10名)※天候によりコースが一部変更になる場合があります。


小鹿田焼の里

いいちこ日田蒸留所の紅葉

林間わさび

やまめの郷(食事イメージ)

① 水の恵コース

●半日コース8:30 ～ 14:00　○参加料:3,000円

8:30　パトリア日田発

9:00　小鹿田焼(おんたやき)の里(小鹿田焼陶芸館)

陶芸館見学及び窯元散策

川の流れを動力にした唐臼、足で回すロクロ、薪を使った登り窯など300年前から変わることなく自然のエネルギーのみで創り出される焼き物の里を散策します。

10:00　いいちこ日田蒸留所

工場見学及びショップ見学

自然と調和した広大な施設にある工場。日田の名水により仕込まれた焼酎の製造から貯蔵までの工程を見学します。

11:20　杉美林と葉わさび栽培地

杉林散策及びわさび栽培状況見学

水のせせらぎ音を聞きながら丁寧に守り育てられた杉の美林を散策。また、九州を代表する産地である林間わさびの栽培状況も見学します。

12:20　やまめの郷(昼食)

発電施設見学、クレソン摘み体験

名水により育てられるヤマメは苦みも臭みも全くなし。
養殖排水を利用した自家発電風呂や排水を浄化する
クレソン栽培など水資源を守り活用する取組も見学します。

14:00　日田駅着

(14:10 豆田着・・・希望者のみ送迎後、自由散策)

ウッドコンビナート

きこりめし弁当

日田杉資料館

豆田町

日田下駄

② 木の香コース

●半日コース8:30 ～ 13:10　○参加料:3,500円

8:30　パトリア日田発

8:40　日田杉資料館

講話及び施設見学

日田の林業についての講話のあと樹齢約500年の日田杉の銘木等の展示を見学します。

9:40　ウッドコンビナート(原木市場他)

九州木材市場、日田資源開発事業協同組合

全国有数の取扱量を誇る原木市場の様子と、製材所から排出される木材の樹皮(バーク)を有効活用するボイラー施設及び木材乾燥施設を見学します。

10:55　日田下駄づくり体験(パトリア日田)

日田下駄鼻緒付け体験

日本でも数少ない下駄の産地である日田。健康面からもその機能が見直されています。鼻緒付けを体験し、自分だけのマイ日田下駄をお持ち帰りください。

12:15　豆田町(昼食)

昔ながらの町並みを散策

林業再生の思いが込められた、「きこりめし弁当」。昼食後は、国の重要伝統的建造物群保存地区に指定されている豆田町のまち歩きをお楽しみください。

13:10　日田駅着・・・(希望者のみ送迎)

同時開催

日田の工業界が誇る様々なものづくり技術を紹介します。

第9回 日田市工業展

期間 10月27日(木)～29日(土)　時間 10時～16時　会場 パトリア日田ギャラリー他

10月
28日(金)
エクスカーション
4コース

●エクスカーション

4つのテーマに基づいて産業観光のモデルコースを体験・見学・交流します。
※各コースとも定員25名(最少催行数10名)※天候によりコースが一部変更になる場合があります。

「護持の森」

豊後・大山ひびきの郷「リキュール工場」

「おすそわけ野菜のレストラン松原」の地産地消メニュー(イメージ)

③ 森の恵コース

●1日コース8:30 ～ 15:10　○参加料:3,500円

8:30　パトリア日田発
途中「しもうけ館」で休憩

9:50　トライ・ウッド ＊雨天時は製材加工場の他、集成材工場、エコ商品事業部を見学

『護持の森』散策、製材加工場見学

(株)トライ・ウッドは木材利用と森林管理の両立により持続可能な林業の実現を目指す取り組みを行っています。社有林「護持の森」では杉本来の良さを活かすための「輪掛け(りんがけ)乾燥」や豊かな土壌から流れ出る筑後川の源流の様子を見学し、未来へとつながる森づくりについて理解を深めます。

12:20　おすそわけ野菜のレストラン松原(昼食)
食事をとりながら意見交換

地区内の高齢者が自宅用に栽培した野菜をボランティアグループが見守りを兼ねて収集し、その野菜を食材としてレストランに提供しています。地元の素材を丁寧に調理した旬の野菜料理をお楽しみ下さい。

13:35　豊後・大山ひびきの郷
箸作り体験とリキュール工場見学

一村一品運動発祥の地として、そしてアニメ「進撃の巨人」の作者諫山創氏のふるさととしても知られる大山町は、九州を代表する梅の産地です。全国梅酒品評会で金賞を受賞した梅酒製造工場の見学及び梅の枝をつかったマイ箸作りを体験します。

15:10　日田駅着

鯛生金山

グリーン発電大分天瀬発電所

バイオマス資源化センター

鯛生金山(食事イメージ)

④ 自然エネルギーコース

●1日コース8:30 ～ 15:30　○参加料:3,500円

8:30　パトリア日田発

9:30　鯛生金山(たいおきんざん)(昼食11:30)
小水力発電所と坑道の見学、昼食をとりながら意見交換

2002FIFAワールドカップでカメルーン代表のキャンプ地として注目を集めた中津江村。国の「近代化産業遺産」でもある鯛生金山の坑道内の気温は1年を通じて14度。また、館内の使用電力は小さな水力発電所で作られているエコな博物館です。

12:30　松原ダム(車窓から)

12:50　グリーン発電大分天瀬(あまがせ)発電所

木質バイオマス発電所見学、
温排水を利用したいちごハウス見学

間伐など森林の保全に伴い発生する林地残材を燃料として発電。燃焼灰を水質浄化剤へ開発、温排水をいちごハウスの加温用として農家に提供するなど、循環型社会の構築と地域産業との連携を目指す取組を行っています。

14:35　日田市バイオマス資源化センター
発電施設の見学

日田は養豚業もさかんな地であり、糞尿と生ゴミの適正処理を目的としてバイオマス資源化センターが開設されました。産業とともに水環境も守り、同時にエネルギーを生み出す。環境都市日本一を目指す日田市の取組を紹介します。

15:30　日田駅着

【フォーラムの内容に関するお問い合わせ】
ひた産業観光推進協議会(全国産業観光フォーラムin日田)事務局
[日田市商工観光部 観光課内] 〒877-8601 大分県日田市田島 2-6-1
Tel.0973-22-8210 Fax.0973-22-8328
E-mail kanko@city.hita.oita.jp
[公式HP] http:// www.forum.oidehita.com/

【お申し込みに関するお問い合わせ】
JTBコンベンションサポートセンター [受付業務代行]
「2016 全国産業観光フォーラムin日田」係
〒810-0072 福岡市中央区長浜1丁目1-35新KBCビル6階
Tel.092-751-2102 Fax.092-751-4098
営業時間/月曜～金曜 9:30 ～ 17:30(土曜・日曜・祝日は休業)
[申込専用HP] https://amarys-jtb.jp/sangyoukankou-hita/